

薄型置敷きビニル床タイル「アトラクア」のご案内

こんなことで困っていませんか？

大がかりな
工事は困る!

アトラクアは、カッター1本で施工ができます。そのため**工期が短く済み**、改装時には電動器具が不要のため、**静音施工**が出来ます。

入退去時は部分
補修で済ませたい!

アトラクアはピールアップ施工のため、簡単に1枚から剥がせます。その特長を活かして部分貼り替えが可能のため、**2回目からのリフォーム費用が非常に安価になり、また工期短縮にも繋がります。**

床材を剥がすのは
面倒だ!

アトラクアは、モルタルや合板などの**直貼り**だけでなく、既設のフローリングやクッションフロアの上に**重ね貼り**が出来ます。そのため剥がす手間や費用がかからず、ゴミ等の廃材がほとんど出ません。

原材料に
再生材を使用

部分貼り替えにより、
使用材料の大幅減

重ね貼り、部分貼り替え
により廃材が少ない

環境にやさしい



トータルコストの削減



ルーイビルオーク [TAR-611]



セルベジャンテ [TAR-41]

下地を傷めずに簡単に部分貼り替えが可能です。

通常、床材の貼り替え作業においては、下記写真のように既設床材を剥がしていく作業から始まります。例えば、クッションフロアーの場合にはエポキシ系やウレタン系等の硬化用接着剤で施工されているため、剥がし作業においては強作業になり、また下地へのダメージも大きくなります。それにより、修復(補修)作業も行わなくてはならない場合があります。

つまり、貼付作業以前の準備段階として、剥がし作業・修復作業という2工程が必要となってしまいます。



剥がし作業は大変な労力を伴う作業であり、また剥がした後の下地へのダメージも大きい。



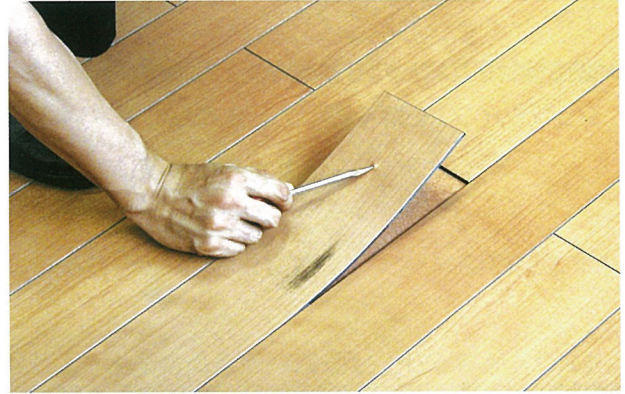
傷んでやせた下地に対して、補修作業を行わなければならない。

アトラクアを使用することにより、簡単に一枚から貼り替えができます。

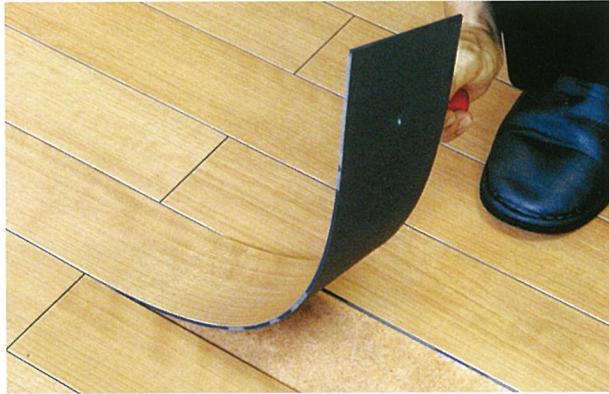
- 傷ついたり、汚れてしまった箇所だけの貼り替えが可能になることで材料費の軽減を実現。
- レイアウト変更が容易に実現できるため、材料費の軽減・工期短縮も出来るので、コストメリットを発揮します。
- 施工後は、下地との密着性を上げるために必ずローラー掛けを行って下さい。
- **施工後には、一般的な樹脂ワックス(非架橋型エマルジョンタイプ)を薄く2回以上塗布して下さい。ワックスを塗布することによって美観・光沢が保てます。**
- 部分貼り替えをした際には、初期導入時と同一のワックスを塗布して下さい。異なるワックスを塗布されたり、または塗布されない場合には光沢差が生じる恐れがあります。



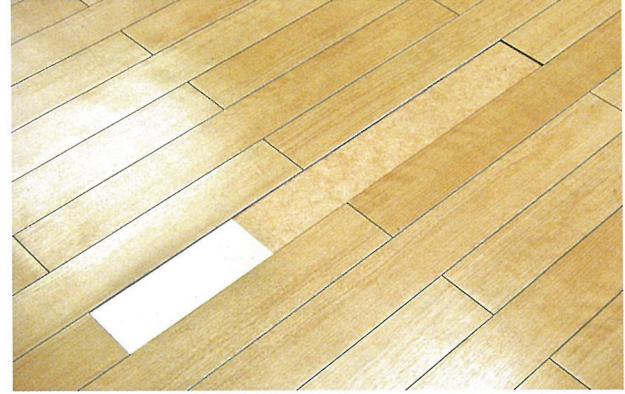
1 部分的に汚れてしまった場合にも…



2 ピールアップボンドでの施工のため錐(キリ)等を使えば…



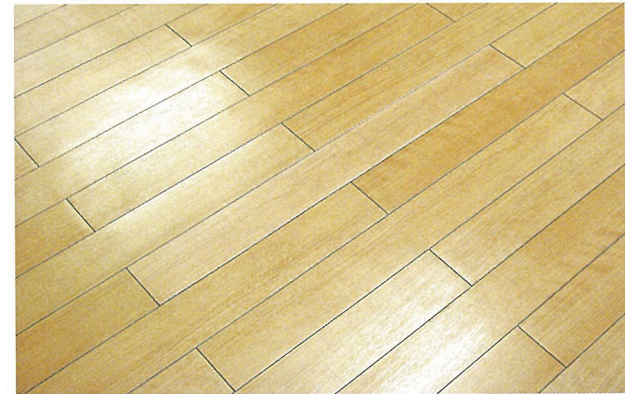
3 簡単に剥がすことが可能です。



4 剥がした部分の下地には、接着剤がそのまま残っているので…



5 新しいタイルを直接貼ることが出来ます。

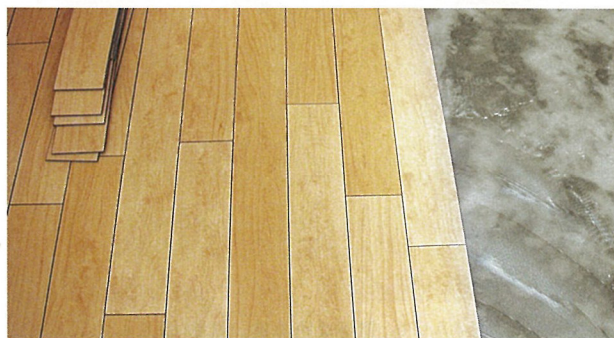


6 貼り替えたタイルにも、極端な色の違いはありません。

直貼りが可能です。

合板の上だけでなく、モルタルの上からも直接貼れるため、捨て貼りが不要になります。
結果的に、費用削減にも繋がります。

- 但し、**下地には平滑性が求められます**ので、接着剤を塗布する前に不陸調整等は必ず行って下さい。
不陸がある場合には当床材は下地に追従し、その不陸の陰影が出る場合があります。
- 下地は補修材を用いて平滑にし、脆弱な下地の場合には、下地補強材で補強を行った上で施工を行って下さい。
- 下地となる床材に段差・不陸・目地隙き・破損及び剥がれ等があった場合には補修を行い、平滑性を確保して下さい。
- 施工後は、下地との密着性を上げるために必ずローラー掛けを行い、一般的な樹脂ワックス(非架橋型エマルジョンタイプ)を薄く2回以上塗布して下さい。



重ね貼りが可能です。

既存の床材（フローリング・クッションフロア・フロアタイル等）の上からピールアップボンドを塗布し、重ね貼り施工が可能です。

- 重ね貼りをすることにより、既存床材を剥がす手間が省け、大幅に工期短縮・ゴミの削減にも繋がります。
- 石材・木質系フローラー等の既設床材への重ね貼りの際には目地を必ず埋め、下地の不陸を調整し、割れ・ひび等が確認される場合には、平滑性を確保して下さい。
- 非吸水性の下地（クッションフロア・長尺シート等）に重ね貼りする際には、施工環境温度を15℃以上に確保していただき、接着剤が完全に乾燥してから施工して下さい。
- 下地となる石材・セラミックタイル・木質系フローラー等の状態が悪く平滑性を保てない場合には、段差発生の原因となりますので、施工はお薦めできません。
- 表面に粗いエンボス加工が施されているタイルの上への施工はお薦めできません。
施工後、当床材の表面にエンボスの跡が浮き出る恐れがあります。
- 施工後は、下地との密着性を上げるために必ずローラー掛けを行い、一般的な樹脂ワックス（非架橋型エマルジョンタイプ）を薄く2回以上塗布して下さい。
- 重ね貼り施工後、既存の床材の経年劣化（浮き・剥がれ等）により当床材の表面へ段差が生じる事があります。
- 下地の状態により、重量物（冷蔵庫・タンス等）を置いた場合には、へこみが出る場合があります。

